

韓国の肉用牛農場でランピースキン病が 約1年7か月ぶりに発生しました!!

ランピースキン病は、生産性に大きな影響を及ぼす伝染病です。
現在国内での発生はありませんが、韓国における本病発生により、
媒介昆虫等を介した国内侵入リスクが非常に高まっています！

全北特別自治道

2026年7月11日

淳昌郡

韓牛農場（8頭飼養）

（参考）全北特別自治道の過去の発生状況

2023年10月24日以降14件発生

（2024年は発生なし）



★：2026年に発生が確認された地点

■：2026年に発生が確認された行政区画

■：2024年に発生が確認された行政区画

■：2023年に発生が確認された行政区画

原因：

ランピースキン病ウイルス

（人に感染することはありません）

感染経路：

蚊・サシバエ・ダニの媒介による
機械的伝播

症状：

全身の皮膚の結節、
泌乳量の減少、発熱、鼻汁

家畜伝染病予防法の改正により
令和8年7月1日から
「家畜伝染病(法定伝染病)」
に位置づけられました



侵入防止対策を徹底していただくとともに
本病を疑う症状を認めた際は
早期通報をお願いします！

京都府中丹家畜保健衛生所 福知山市字半田371-2

☎：0773-25-1860

*休日・夜間は転送されます

ランピースキン病

MAFF
農林水産省

Point

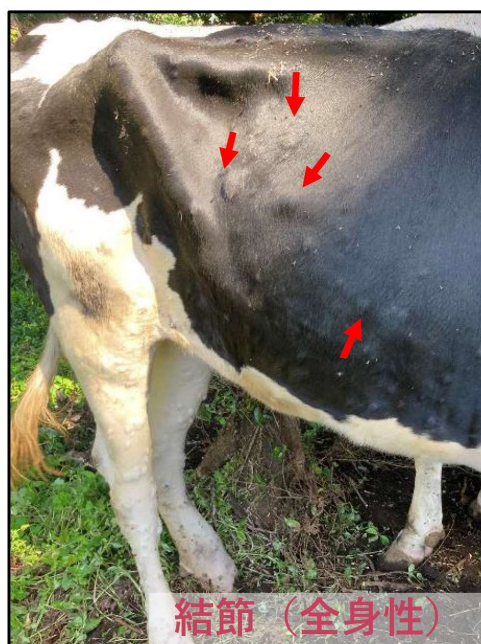
ランピースキン病は、ランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病。主に、蚊、ハエ、サシバエ、ダニの媒介による機械的伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大します。感染した牛は、全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈します。本病は死亡率は高くなく、自然治癒しますが、生産性に影響を及ぼします。

ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁
皮膚の結節
泌乳量の低下
リンパ節の腫大



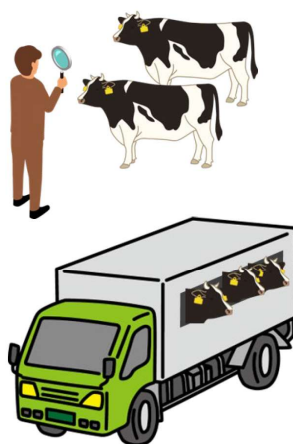
疑わしい場合は
直ちに連絡！



ランピースキン病の侵入防止対策

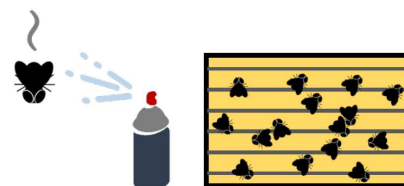
01 毎日の健康観察

早期発見・早期連絡が重要。
疑わしい牛は隔離し、牛の導入、
出荷、移動時は健康観察を徹底。



02 害虫の駆除

殺虫剤、粘着シート、
I G R 剤等も活用。



03 清掃・消毒

衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に使用する器具や畜舎等の施設は清掃と消毒を実施。